

戸開走行保護装置
定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

大臣認定番号	ENNNUN-1964 ENNNUN-2287 ENNNUN-1965 ENNNUN-2288 ENNNUN-2513 ENNNUN-2514	UCMP 型式	DBGMH-1 型 DBGMH-1-A 型 DBGMH-2 型 DBGMH-2-A 型 DBGMH-1B DBGMH-2B
--------	--	---------	--

発行：令和6年2月1日 Ver.3

(1)	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準
(1)	戸開走行保護回路	走行中戸開時の動作有無	エレベーターがドアゾーン外にいる時に、乗場戸の錠を外す。	電動機動力電源およびブレーキの励磁コイル電源を遮断するリレー(REL1,REL2,UCM)が消磁しないこと。エレベーターが停止しないこと。
		安全制御プログラムバージョン	目視にて基盤(SSIB)上ROM記載プログラム Ver.を確認する。	下記バージョンと同一でないこと。 JAA31384AAD
			又は保守ツールにてプログラム Ver.を確認する。	
	安全制御プログラム作動の状況	ブレーキ動作感知装置の故障を模擬した場合の動作を確認する。	制止しないこと。 (n-1)ブレーキ制動時に UCM にならないこと。	
(2)	つま先保護板	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
		長さ	かご床面からつま先保護板直線部までの長さを測定する。	制御盤「つま先保護板有効長さ(最小)」未満であること。
(3)	特定距離感知装置	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。
		動作確認	動作位置を確認する。	規定位置で動作しないこと。 ±150mm(±10mm 以内)
(4)	部品	規定部品の型式	目視により確認する。	規定部品の型式が適正なものでないこと。
		規定部品の交換基準	目視及び触診により確認する。	規定部品の動作回数又は経過時間が規定値を超えていること。摩耗量が規定値を超えていること。 REL1,REL2：1,000 万回到達時又は使用年数 10 年経過 UCM：1,000 万回到達時又は使用年数 10 年経過
(5)	巻上機	制動面の状況	目視により確認する。	制動面に油が付着していること。
		油排出場所の油の流出状況		シール部から油が流出していること。 排出口確認部にて油が見受けられること。
(6)	ブレーキ	パッドの厚さの状況	可動制動板とコイルケースの隙間を測定する。	隙間が 0.4mm を超えること (要重点点検) 隙間が 0.45mm を超えること (要是正)
		パッドの状況	目視により確認する。	パッドに欠損、割れがあること。又は剥離していること。
		ブレーキパッドの動作感知装置	ブレーキ開放時及び締結時の動作感知装置の接点信号動作を確認する。	ブレーキの開閉と接点信号動作が一致していないこと。
	測定方向記載 無負荷上昇もしくは定格負荷下降	全ブレーキ制動力の状況	かごの定格速度で両側ブレーキ制動を確認する。	ブレーキが制動しないこと又はかごが規定の距離範囲内で停止しないこと。
		(n-1)ブレーキ制動力の状況	かごを指定速度 (72 又は 24m/min) で1つのブレーキを開放状態にし (n-1)ブレーキ制動を確認する。 ①72m/min 保守ツールを用いて確認する。 ②24m/min かご内にて測定器を用いて減速度を測定する。	1回でもブレーキが制動しないこと又はかごが規定の距離範囲内で停止しないこと。
上記(1)～(6)の検査結果表で「要是正」又は「要重点点検」及び別記第一号 1(14)・3(3)・4(11)の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合は、別記第一号 2(9)「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。				
制御盤ブレーキ停止距離基準の写真を検査表に貼り付けること。				

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
著作権所有：日本オーチス・エレベータ株式会社